

閉会あいさつ

平田 直（防災科学技術研究所首都圏レジリエンスプロジェクト総括 /

首都圏レジリエンス研究推進センターセンター長）

（平田） 2時間にわたり、ありがとうございました。最初に予告したとおり最先端の話の聞くことができ大変うれしく思っています。かなり最先端だったので、自分のところではなかなかできないと思った方もいるかもしれませんが、これを実現するために皆さん相当の努力をしてここまで来ています。実は「研究者も学も、もっと頑張れ」というお叱りを受けるのではないかと恐れていましたが、皆さんから優しい答えを頂けて大変感謝しています。本日は本当に有益な議論ができてよかったですと思います。どうもありがとうございました。

（司会：下村） ありがとうございました。ご視聴の皆さんから、紹介し切れませんでしたがたくさんメッセージを頂いています。例えば「デ活情報の共有プラットフォームはどのようなものがありますか」というベーシックな質問もありますが、防災科研のデ活のホームページをご覧いただくと、本当にさまざまなプラットフォームが用意されているので、ぜひご覧ください。

また、個々のアイデアもいろいろと寄せられています。「今日出てきたPowerPointのような資料を提供していただくことは可能ですか」という問い合わせが来ていますが、どう考えたらいいですか。

（平田） 全部というわけではないかもしれませんが、基本的には議事録も含めて公開する予定です。YouTubeの映像はアーカイブされて何度でも見ていただけるようになるので、資料についてもご用意できると思います。

（司会：下村） 「デ活の大学生や高校生への教育はあるのですか」という質問も来ています。まだまだ、これからラスト1年で実施できるアイデアが続々とアンケートでも寄せられるかもしれませんね。

（平田） そうですね。ありがとうございます。

（司会：下村） 次回は少し先になりますが令和3年12月を予定しています。年度末の3カ月前です。本当のラストスパートになりますが、ぜひ次回もご参加いただきたいと思います。

それでは、これで今年度第1回のデ活シンポジウムを終了します。本日はご参加いただきありがとうございました。